広島商船高等専門学校				開講年度 令和06年度 (20		2024年度)	024年度) 授		物理(D3)			
科目基礎情報												
科目番号 1931006			5			科目区分		一般 / 必修				
授業形態 講義						単位の種別と単位	单位数 履修単位:		1			
開設学科 一般教科						対象学年	3					
開設期前期						週時間数		2				
数科書/教材 (物理) 過			過去限			、「物理」高木堅志郎、植松 hiroshima-cmt.ac.in/faculty		aculty/inna	巨夫編(啓林館)、「学習到達度試験 ippan/007.html)/参考図書:「機械			
担当教員 藤原 滋泰												
到達目標												
(1) 波の基本的性質を学び、身近な波である音や光について理解し、波についての各種の物理量を計算できる様になる。 (2) 大きさのある剛体の重心や釣り合いの関係について、具体的な計算ができる様になる。 (3) 運動の法則をもとに、2つの物体が衝突したり、1つの物体が分裂したりする際に成り立つ法則について理解出来る様になる。 (4) 微分積分を用いた、簡易な力学の問題を解ける様になる。												
ルーブリック												
			理	想的な到達レイ	ベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目	安	未到達レベルの目安			
評価項目1					や弦や気柱の振動 ついてについての ける。	音源の振動、ド や気柱の振動、 ての基本的な計	共鳴にて	ついてつい	音波、音源の振動、ドップラー効果、弦や気柱の振動について説明できない。または、基本的な計算が出来ない。			
評価項目2			面	への斜め衝突、	の条件、滑らかな 衝突とエネルギ 量と力学的エネル 複雑な問題が解け	剛体のつりあい 反発係数、弾性 、完全非弾性衝 的な計算ができ	衝突、ま 突につい	手弾性衝突	物体の重心、運動量、反発係数に ついて説明できない。または、基 本的な計算が出来ない。			
評価項目3			速積ま程	度、加速度、3 分を用いて解 た、 簡単な運 式の形で運動	変位の問題を微分 くことが出来る。 動について微分方 方程式を立て、初 解くこともできる	速度、加速度、3 題を微分積分を、出来る。また、エネルギーと力の微分積分を用いる。	用いて角 仕事、 の基本的	解くことが 力積、位置 対な問題を	速度、加速度、変位の概念を微分 積分を用いて説明することが出来 ない。			
学科の到	達目標項	目との関	係			1			-			
教育方法	等											
(1) 大きさのある剛体の重心や釣り合いの関係について学習する。 (2) 2 物体が衝突したり、1 つの物体が分裂したりする際に成り立つ法則について学ぶ。 (3) 自動車の様な乗り物の運動や、ボールの運動の様な、速さや動く向きが絶えず変化し、良く観察すると複雑な運動 を微分積分を用いて表す方法を学ぶ。												
(1) 講義を(2) 問題を			を解き	行い、ノートをとってもらった後に、演習プリントを配布し、問題を解いてもらう。 解き、発表する際には、質疑応答を行うことで互いの理解を深める様にする。 た内容をチェックするために、Blackboardのオンラインテストを受講して下さい。 poardから配信している、学習到達度試験対策の電子書籍をダウンロードして、問題演習に役立てて下さい。								
(1) 物理量の持つ意味と単位を明確に理解する。例えば、電子、電流、磁界、加速度、力、運動の法則、運動方程式ーメントと重心、熱量、比熱、理想気体といった用語を自分の言葉で説明出来るくらい明確に理解する。用語の捕ら方の違いから来る誤解を招かない様に注意する。 (2) 用語の意味を踏まえた上で、法則の意味(イメージ)がつかめているかどうか、公式の導出過程が解ったかどう確認する。ノートに枠で囲ってある式は必ず覚える。 (3) 特に試験前には、演習プリントを自力で解き直す(最初から、ノートや解答を見て答えだけを探そうとしない)分で考えながら解く事で、法則の適用の仕方を身に付ける。 (4) 授業態度を含め、あたりまえの事をきちんとやる。苦手だからこそ、ノート、演習プリントは完全に提出できる毎時間、常に整えておきましょう。 試験問題の大半を占める演習プリントの問題を解ける様にしておく。解けない場合は、必ず質問して下さい。質問をる時は、ノートやプリントを持って来て下さい。 (5) 何が足りなかったから解けなかったのか、何が理解出来ていれば解けていたのかを認識出来る様に、ある程度の間を掛けて頑張って下さい。 (6) 専門科目の「工業力学」、「材料力学」、「電気回路」、「電子電気工学」、「電磁気学」、「応用物理」等にして行く為の基礎を取り扱う。									らい明確に理解する。用語の捕らえ 公式の導出過程が解ったかどうかを 記で答えだけを探そうとしない)。自 複習プリントは完全に提出できる様、 は、必ず質問して下さい。質問をす かを認識出来る様に、ある程度の長時			
授業の属	性・履修	上の区分				1						
□ アクテ	ィブラーニ	ング		ICT 利用		□ 遠隔授業対応	<u> </u>		□ 実務経験のある教員による授業			
伝業計革												
授業計画	1	\ _E	122 Ant	+ r/2			\B →"	へかけ				
		週	授業	愛業内容				の到達目標				
前期	1stQ	1週	1. 波	波の反射と屈折・音			1-(1) 波の反射と屈折、ホイヘンスの原理に 問題 が解ける。 1-(2) 音波について説明でき、音波の性質に 題が解ける。					
		2週	1. 波	波の反射と屈折・音				1-(3) 音源の振動、ドップラー効果についての計算 でき る。				
		3週	1. 波	の反射と屈折	·音		1-(4) 弦の長さと、弦を伝わる波の速さから、弦の固 有振 動数を求めることができる。					
		4週	1. 波	の反射と屈折	・音		1-(5)	1-(5) 気柱の長さと音速から、開管、閉管の固有振動数を 求めることができる(開口端補正は考えない)。				
		5週	1. 波	の反射と屈折		1-(6)	1-(6) 共振、共鳴現象について具体例を挙げることができる。					
		6週	2. 光					2-(1) 光の進み方、光の性質についての問題が解ける				
		7週	2. 光				<u>2</u> -(2)	レンズ、光	の回折と干渉についての計算ができ			
			. , ,				၂ ခ ့					

		8週	前期中間試験 答案返却・解説							
		9週	3. 剛体のつりあい			3-(1) 物体に働く力の合成についての計算ができる。 3-(2) 物体の重心の計算ができる。				
		10週	3. 剛体のつりあい			3-(3) 物体の釣り合いの条件の問題を解くことができる。				
		11週	4. 運動量の保存・原	豆発係数		4-(1) 運動量、運動量の変化と力積の問題を解くことができる。				
		12週	4. 運動量の保存・原	豆発係数		4-(2) 運動量の保存についての問題を解くことができ る。				
	2ndQ	13週	4. 運動量の保存・原	豆発係数		4-(3) 反発係数、弾性衝突、非弾性衝突、完全非弾性 衝突の計算ができる。				
		14週	5. 微分積分を用いた力学			5-(1) 速度、加速度、変位の問題を微分積分を用いて解くことが出来る。 5-(2) 仕事、力積、位置エネルギーと力の問題を微分積分を用いて解くことが出来る。				
		15週	5. 微分積分を用いた	こ力学 こうこう		5-(3) 簡単な運動について微分方程式の形で運動方程式を立て、初期値問題として解くことができる。				
		16週	前期期末試験 答案返却・解説							
評価割合										
	試	験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割	合 65	;	10	0	25	0	0	100		
基礎的能力	40		5	0	20	0	0	65		
専門的能力	25		5	0	5	0	0	35		
分野横断的	1能力 0		0	0	0	0	0	0		